

熊沢蕃山の思想冒険

山田芳則 著

2015年1月刊行

A5判・216頁／定価：本体5,000円(税別) ISBN978-4-7842-1783-0

近世の儒者・熊沢蕃山(1619～91)の一つ一つの著作の思想構造の解明をめざし、さらにそれぞれの著作を比較することで、蕃山の思想の変化に注目し、その変化の意味を問う。また中江藤樹『翁問答』や池田光政の藩政改革をとりあげて、岡山藩における蕃山の政治体験の意味を解明し、それらの考察から多様な蕃山の思想を立体的に浮かび上がらせる。

内容目次

序論 蕃山思想の研究と方法

第1部 蕃山思想の前提

第1章 中江藤樹の『翁問答』の思想

- 1 孝論
- 2 倫理思想
- 3 政治思想
- 4 仏教・道教・儒教

第2章 池田光政の藩政改革

- 1 藩政改革
- 2 洪水対策
- 3 文期の思想展開

第2部 蕃山思想の形成

第1章 思想形成と『源語外伝』の思想

- 1 蕃山の経歴と初期の思想
- 2 致仕後の経歴と『源語外伝』の世界(一)
- 3 『源語外伝』の世界(二)

第2章 『集義和書』初版の思想

- 1 仏教・儒教と朱子学・陽明学
- 2 儒教の受容
- 3 近世社会の理解と経世論

第3章 『集義和書』二版の思想

- 1 池田光政との確執
- 2 『息先生道談』と『集義和書』二版の儒教観
- 3 『集義和書』二版の経世論と人生観

第3部 蕃山思想の展開(一)

第1章 『集義外書』の思想

- 1 仏教・キリスト教と儒教・神道

- 2 相対化の視点
- 3 近世社会の理解と経世論

第2章 『中庸小解』と『論語小解』の思想

- 1 『中庸小解』と『論語小解』の思想
- 2 『論語上巻小解』の思想
- 3 『論語下巻小解』の思想

第4部 蕃山思想の展開(二)

第1章 『女子訓』の思想

- 1 女性観・教育観
- 2 恋愛観・結婚観
- 3 仏教観

第2章 『三輪物語』と『大学或問』の思想

- 1 『三輪物語』における古代中国と日本
- 2 『三輪物語』における仏教・神道と公家文化
- 3 『大学或問』における経世論

第5部 蕃山思想の展開(三)

第1章 『孝経小解』と『孝経外伝或問』の思想

- 1 『孝経小解』の思想
- 2 『孝経外伝或問』の心法と政治
- 3 『孝経外伝或問』の経世論と歴史論

第2章 『大学小解』・『夜会記』・『繫辞伝』・『易経小解』の思想

- 1 『大学小解』の思想
- 2 『夜会記』の思想
- 3 『繫辞伝』の思想
- 4 『易経小解』の思想

結論

やまだ・よしのり...1952年新潟県生。同志社大学大学院文学研究科博士課程(後期)単位取得。現在、就実大学教授。主な論著に『日本の近代化と維新』(共著、ペリかん社、1982年)、『幕末・明治期の儒学思想の変遷』(思文閣出版、1998年)、『江木鱗水論』(『吉備地方文化研究』第10号、2000年)ほか。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行：思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	熊沢蕃山の思想冒険	本体5,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1783-0
お名前		tel		
		e-mail		
ご住所	〒			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由(このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)			

本書HPのQRコード

書店番線印

※幕末・明治期の儒学思想の変遷

山田芳則著

山田方谷、阪谷朗廬ら主に吉備地方の思想家10名をとりあげ、幕末期の儒学思想の特質、近代西洋文明との接触による儒学思想の変容、明治期の儒学思想の課題、さらに儒学批判を通じた明治期における西洋思想形成の過程を解明し、儒学が果たした地域的役割をも考察する。

【内容】

幕末期儒学思想の特質 山田方谷、森田節斎

幕末・明治期儒学思想の変容 阪谷朗廬、西周、津田真道

明治期儒学思想の課題 坂田警軒、西薇山

明治期西洋思想の形成 大西祝、北村透谷

▶A5判・258頁／本体 5,600円(税別)

ISBN4-7842-0982-4

※藤原惺窩集 [全2冊]

太田兵三郎他編

昭和16年に国民精神文化研究所から儒教思想史研究資料の一つとして刊行されたものの復刻。光岡校訂の惺窩先生文集、羅山編の惺窩文集のほか、自筆草稿、日記残簡あるいはその著とされる寸鉄録など、惺窩に関するあらゆる史料を収録。羅山・各所ら藤門四天王を育てた日本儒学の祖惺窩の唯一無二の重要史料。

▶A5判・総1,024頁／本体 12,000円(税別)

ISBN4-7842-0368-0

※京都町衆伊藤仁斎の思想形成

三宅正彦著

朱子学は幕藩国家の支配階級のみならず被支配階級とくに京都町衆にも浸透する。仁斎も熱烈な朱子学徒であったが、なぜ仁斎は朱子学を否定して独自の思想体系仁斎学に至ったか。その歴史的意義と思想的展開を、徹底した稿本研究を通し、京都町衆の存在形態と意識的特質の検証の中に探る。

▶A5判・378頁／本体 5,800円(税別)

ISBN4-7842-0484-9

近世国家の教育思想

本山幸彦著

徳川幕藩体制期の教育政策を縦覧し、政治・経済・社会の諸条件と関連させながら、政治と教育の関係を明かす。幕府・諸藩の教育機関設立の趣旨、幕臣や藩士に対する奨学の論旨、教育機関発達の諸条件など、体制の維持・存続・強化のための教育思想・施策の具体像を明らかにする。

▶A5判・296頁／本体 7,000円(税別)

ISBN4-7842-1069-5

在村知識人の儒学

川村肇著

近世後期の在村知識人の諸相を具体事例にそってとりあげ、民衆の儒学と教育の近代化の関係を探る。

【内容】民衆儒学と教育近代化／幕末維新期の民衆における漢学教育／儒学と農業／漢学教養の形成／儒学と救民行為／儒学と主体形成／崎門派の在村儒学と学校構想／在村知識人と近代化

▶A5判・278頁／本体 6,400円(税別)

ISBN4-7842-0912-3

近世私塾の研究

海原徹著

広瀬淡窓、本居宣長、杉田玄白、シーボルト、緒方洪庵、藤田幽谷・東湖、月性、吉田松陰など近世の代表的な私塾の動態と人的交流を多方面から総合的かつ体系的に解明・分析し、その果たした役割と意義を探り、近代への胎動を追求した初の本格的な研究書。写真・図版多数収録。

▶A5判・650頁／本体 14,000円(税別)

ISBN4-7842-0747-3

西村茂樹研究 明治啓蒙思想と国民道徳論

真辺将之著

明治の啓蒙思想家・道徳運動家である西村茂樹の思想について、従来の「保守」と「進歩」という二項対立的な枠組みから脱却し、時代状況に応じた問題意識の変遷と主張の展開を、史料に基づいて跡づけることにより明らかにする。

▶A5判・488頁／本体 7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1491-4

思想史における近世

柴田純著

個人と社会、主観と客観の相剋に挑む新鋭の問題作。

【内容】近世思想史研究の課題と方法／近世前期における学文の歴史的位置／那波活所の思想／那波活所と徳川頼宣／徳川頼宣の藩教学思想／近世における法と理／近世初頭の社会と儒者／思想史における近世／宋明学の受容と日本型中華意識

▶A5判・310頁／本体 5,800円(税別)

ISBN4-7842-0650-7

徂徠学の史的研究

今中寛司著

第一章においては、新史料「徂徠先生年譜細君墓表一卷」、徂徠自筆『勝覚寺縁起』により徂徠の前半生を明らかにし、第二章では徂徠学における「古文辞」の学と、それを生み出した私塾護園について論じ、第三章において徂徠の業績と評価を総合的にまとめる。

▶A5判・424頁／本体 12,000円(税別)

ISBN4-7842-0737-6

※近世儒者の思想挑戦

本山幸彦著

江戸開府から大政奉還までの近世265年間を、成立・安定・動揺・崩壊の4期に分け、各時代の代表的儒者・思想家である林羅山・熊沢蕃山・貝原益軒・荻生徂徠・佐久間象山・横井小楠をとりあげ、彼らが直面した時代の課題にいかにか解決の道を見出そうとしたのか、その思想的営みの足跡に迫る。

▶A5判・314頁／本体 7,500円(税別)

ISBN4-7842-1304-X

※近世日本釈奠の研究

須藤敬夫著

釈奠(せきてん)とは、孔子をはじめとする儒教の先哲を先聖・先師として祭る祭儀、近世においては林家聖堂や藩校において行われた学芸奨励の重要行事であった。幕府および諸藩における実態を詳細に調べ、釈奠儀礼の盛衰を明かす。近世教育史および儒学・思想史研究の空白を埋める、釈奠研究の第一人者による他に類書のない初の体系的な研究。

▶A5判・340頁／本体 8,000円(税別)

ISBN4-7842-1070-9

近代日本の倫理思想 主従道徳と国家

高橋文博著

西村茂樹・福沢諭吉・阿部次郎・安倍能成・和辻哲郎ら近代日本の思想家や、修身教科書を取り上げて考察した論文を集成。前近代よりもち越され、主張され続けた主従道徳の存在に着目し、倫理思想における日本の近代と近代以後のもつ意味を考える一書。

▶A5判・332頁／本体 5,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1656-7

※回想・杉浦重剛

回想杉浦重剛編集委員会編

倫理御進講の担当者杉浦重剛の生涯と業績を追悼・評論などを通してさぐる。明治の思想・教育界のあり様と裏面がうかがえる一書。内容は、I 追懐・杉浦重剛(25篇) II 御進講余録(10篇) III 称好塾報(明24~大元の抜粋) からなり、巻末に解説(付・杉浦重剛参考文献目録)を収める。

▶A5判・622頁／本体 10,000円(税別)

ISBN4-7842-0385-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。